

バラをPR



米子地区花き生産者協議会バラ部会は「父の日にバラを贈ろう」と、毎年、生産者が住む市町村へバラの花束と花かごを贈ってPRしています。

6月14日(水)に、日本ばら切花協会鳥取県支部長の大原広巳さんが協議会を代表し、町長にバラを贈りました。

大原さんは、「父の日にバラを贈ること、食卓に1輪の花を飾ることをぜひ習慣に」と話していました。

すやまとしおライブ

名和マラソンフェスタの司会や、民放番組のメインキャスターとしておなじみのすやまとしおさんが、6月11日(日)生活想像館の「わくわくホール」でライブコンサートを開きました。

すやまさんは、昨年24年ぶりにアルバムを発売。精力的に音楽活動を続けながら、今年ニューシングル「続・接吻白書」を発売されました。

ライブでは、すやまさんが「愛」をテーマに十数曲を弾き語り。情熱的な歌声と胸を打つ歌詞に聴衆は魅了され、2時間を満喫しました。



ホールに響くクラシックの調べ



サクソフォン・コンサート

エシエル・サクソフォン四重奏団のチャリティーコンサートが、5月21日(日)生活想像館の「わくわくホール」で行われました。

この楽団はサクソフォンだけのカルテット。二年前に福永博昭さん(赤坂)と、かつて国立音楽大学在学中に活動していたメンバーが三十数年ぶりに再結成しました。

「わくわくホール」でのコンサートは、今回が二度目。後半

には、カルテットにピアノを加えた珍しい編成も披露され、ほぼ満席になった聴衆は、楽団の奏でる澄んだ音色に引き込まれていました。

この後メンバーは「中山温泉」を満喫。「コンサートのあと、温泉に入れるところはここだけ」と、好評でした。

なお、このコンサートの収益金の一部は、社会福祉協議会へ寄付されました。

町をきれいに 名和地区一斉清掃

6月4日(日)、早朝から名和地区で一斉清掃が行われました。当日は、名和地区のうち25部落・区が取組み、地元周辺の草刈り、側溝掃除、海岸清掃などをおこないました。投げ捨てられたごみなども片づけられ、大変きれいになりました。

また、草の運搬は、各地区の要望により、昨年同様大山町建設業協議会が協力くださり、スムーズに作業が終了いたしました。ありがとうございました。



御来屋港の清掃の様子